

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」福岡空港校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの特性や課題に応じたオーダーメイドの個別支援の提供	お子様一人ひとりの特性や課題、ご本人や、保護者様からのアセスメントを元に職員間で会議を行い、お子様に合わせた計画の作成、それに沿った支援の提供を行っています。半年に一度のモニタリングも行ったり、面談を実施し随時見直し等を行うようにしています。	今後も、ご本人の課題や特性を理解し、ご家族のご要望や困り感も定期的に共有、把握しながらお子様一人ひとりに合わせた支援提供を行っていきます。
2	常勤専門職の配属による専門的な視点からのアプローチ	言語聴覚士、理学療法士を中心に言語面や体幹面、認知面SST課題などより具体的な支援の提供を行い、教室内での勉強会を随時開催し、他の職員のスキルアップも図ることが出来ています。	今後も、積極的な研修への参加、自己研鑽を積み、お子様一人ひとりの特性をより理解したうえで支援を提供できるようにしていきます。
3	家族支援等の充実	支援後に毎回支援内容やその日の様子、気付き、保護者様からおうちや園での様子、他事業所での様子をを伺う時間を10～15分設け、必要に応じて助言等を行っています。また、面談等も行ったり、ラインやお電話でのご相談も迅速に対応する体制を整えています。	今後も支援見学の機会を増やしたり、細めな共有、迅速な相談対応などを職員全体で心がけていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場の確保が難しい	マンションの一面ということ、また店舗駐車場の確保がないため、保護者様に送迎時にご迷惑をおかけしていることがあります。	今後も送迎時に駐車が難しい場合は、ご連絡を頂き、職員が車までお迎えに行くなどの対応をしています。
2	小集団活動の回数が少ない	祝日や長期休暇時にはイベントや小集団活動を取り入れていますが、不定期のためもう回数が少ないと感じています。	月に1回は小集団の日を設けるように今後検討していきたいと思えます。その際曜日等に偏りがないようにしていきます。
3	保護者様向けの研修会等の実施が少ない	保護者会は年に2回開催していますが、研修会という形での開催ができていません。	保護者様にアンケートをとったり、日頃の共有の中での困り感、要望などを把握し、それについての研修会等を今後開催していけるようにしたいと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	
------	--

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 39名

回収数 31名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	9	2	0	・充分は分かりませんが、工夫されてスペース確保されていると感じます。 ・建物構造上、仕方がないが、仕切りのパーテーションがクラクラしていて、一人一人のスペースが狭い。 ・運動するスペースが狭い。動くことが好きなお子、運動するには場所が狭いと思う。	・支援時間を調整できる方にはお断りしながら出来る限り広いスペースで支援させて頂けるように今後も調整していきます。 ・運動面に関しては広い部屋を使用するように工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1	0	0	・リハビリの先生を増やしてほしい	・専門職については会社としても随時募集を行い専門職の獲得に努めています。 ・その他人員に関しては適切な人員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	7	2	2	・建物構造上、仕方がないと思うが、バリアフリー化は進んでいない。パーテーションの仕切りが頼りない。 ・玄関ドアで子供が手を挟まないか少し心配です。	・パーテーション等は、倒れないように今後工夫していきます。 ・フィードバック等を室内で行い、玄関先の混雑がないように留意し、玄関の開閉も十分に気を付けて対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	3	4	1	・部屋にもよるが運動するには活動スペースが狭いと思う。 ・一人一人のスペースが狭いかな、と思います。 ・建物がマンションの1階だから暖気が溜りやすいのは分かるが、除湿乾燥機を設置するなどの対策がない為、我慢が必要。床に置いてあるマットなどをもう少し頻りに交換してほしい。費用が必須なら、後継者にアパックスして毎月数千円徴収するなどは、応じる保護者もいると思う。	・細めな換気や教室内の衛生管理などに努めています。 ・活動に合わせて個室を使い分けようとしています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2	0	0	・随分わかる先生でも、前回の引き継ぎがしっかりできていないと感じます。 ・専門の先生に相談した際に先生を呼んでほしいです。 ・相談でお断りした子どもの苦手なことを取り入れて訓練してくれる ・いつも丁寧に個別性のあるご指導、ありがとうございます。	・今後もお子様の特性を理解し専門性を活かした支援を提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	3	・プログラムに沿った指導を受けていると思う。	・個別支援計画をもとに、お子様一人ひとりに合った支援を提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3	0	2	・個別に対応した指導になるので、活動プログラムの固定化は仕方ない気がする。 同じことがずっと続いていると思うことがあります。 子どもが飽きないように興味を示すような工夫をしてくれている。	・お子様に合わせて課題の調整やステップアップなどを行なっています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	2	13		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	0	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0	・療育後のフィードバックで苦手な点や以前より伸びた点等の話が ある。その際に家庭で気になる困りごと等の相談もできています。	・支援後のフィードバックや子育てサポートの取り組みとして支援を見学して頂いた中で相談支援等も行い、今後も情報共有を行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1	0	3	・終わりのFB時と一緒に相談ができています	・今後もフィードバック時や面談の中でお気軽にご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	4	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	3	0	8	・開催されているが参加していないのでわかりません	・年に2回保護者会を開催し、保護者様同士の交流の場を設けており、参加して頂いた保護者様にはとても喜んで頂いています。次回開催時にはぜひご参加ください。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	8		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	0	0	1	自己評価の結果は確認したことありません	月に2回のブログ発信でお子様の活動やイベントの様子などを発信しています。 事業所評価については公表後保護者様に再度周知させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	7	訓練に参加していないので分からない	・会社で定期的な研修が開催されています。研修の内容等を今後保護者様にも発信させて頂く機会を設けていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	8	参加していないので分からない	・月に一度事業所内において防災訓練を実施しています。 (日程につきましては利用予定表に記載していますのでご確認ください) ブログなどで発信しますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	14	事故などが起きていないので分からない	・事故防止マニュアルを用いて、対応できるように職員間で共有を行なっています。 事業所内で怪我等が起こった場合は速やかに保護者様に連絡し、帰宅後も様子を見ようように心がけています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	5	0	0	「毎週きらりに行く」と嫌がらず来んでいます。	・今後もお子様が安心して通所して頂けるように楽しい雰囲気作りや環境設定を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」福岡空港校	公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・支援室の広さを確保するために、不要物の撤去等を行っています。 ・活動に合わせて使用する部屋を検討しています。	・時間帯や利用人数、活動によっては、狭さを感じたりするため、パーティションを移動したりして出来るだけ広く使えるように今後も工夫していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・どの時間帯においても、利用者様と指導員が1対1の個別対応ができるように調整しています。 ・支援内容やお子様のその日の状態によっては指導員2名体制をとるなど対応しています。	・現時点では適切な人員配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・おもちゃ等を片付ける際には写真を貼り、お子様が元の位置におもちゃを片付けやすいように、視覚的な工夫を行っています。	・ドアでの仕切りが多い為、出入りなどの際には十分に気を付けるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	6	・細めな喚起やおもちゃの消毒、清掃などを行なっています。 ・空調の調整も行ない、お子様が心地よい環境で支援を受ける事ができるようにしています。	・床がじゅうたんのため、清掃に工夫が必要だと感じています。また、エアコンも年式が古く、清掃しても完全に綺麗にならない箇所もあるのでエアコンの取り替え等を検討していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・基本的にはプレイルーム等をパーティションで仕切り個別の空間を確保していますが、必要に応じて別のスペースでの対応も行っています。	・お子様の特性や支援内容によってはパーティションを外すなどしながら今後も対応していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・業務内容を定期的に話し合う機会を設け、業務改善を行なっています。	・1日、週単位、月単位、年単位で目標を設定し、確認をしながら業務にあたっています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者様から頂いたご意見等を真摯に受け止め、事業所内での共有を行いながら、事業所運営の向上や業務改善に努めています。	・今後もアンケート内容や保護者様からのご意見をその都度事業所内での共有改善を行いながら運営していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎日の朝礼、終礼時に教室運営に関する共有や支援内容に関する共有などを行い、職員の意見や考えについて話し合う機会を作り、業務改善に努めています。	・今後も職員間での意見交換や情報共有などを細めに行なっています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・第三者評価は行っておりません。	・外部評価は行っておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・社内全体やエリアなど研修の年間計画に沿って、職員が研修を受ける機会を設けています。調整出来る範囲で調整を行い、多くの職員が参加出来るようにしています。	・今後も積極的に研修に参加し、スキルアップに努めていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・日々の支援内容やその日の支援の様子なども共有し利用者様にとって必要となる計画に沿ったプログラムを作成しています。	・個別支援計画を元に支援内容を考え、目的を持って支援を提供していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・支援後保護者様へのフィードバックを行い迅速に対応できる環境を整えています。定期的にアセスメントやケース会議等を行い計画の作成をしています。	・今後も定期的にあセスメントを実施し、今後の目標に向けた個別支援計画を作成していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・複数の指導員が支援に携わっているため、モニタリング会議等を行い、指導員と児発管での共通理解をもった上で内容を検討し支援に活かすようにしています。	・今後も指導員と児発管の共通認識をもち、ケース会議を行い、個別支援計画を作成していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・支援前に個別支援計画を確認したり、記録を見返して支援内容を決定し支援を行っています。支援後は、記録を残し、職員間で共有しています。	・ケース会議や日々の支援の振り返りの中で、内容を確認したり、次の支援に向けた情報共有を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・年に一度アセスメントを実施しています。保護者様とお子様の発達状況や課題について話し合い、お子様のその時の状況を把握し、お子様に合った支援を提供していきます。	・今後もアセスメントを実施しお子様の発達状況などを把握して支援を行っています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・「本人支援」は5領域の視点での支援項目を設定し、「家族支援」「移行支援等」についてはお子様とご家族の状況を多様な視点から確認し、関係機関との共有を行うようにしています。	・今後も児童発達支援ガイドラインを元に5領域の視点からの計画作成を行い、家族支援等も計画に取り入れていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	・支援内容の共有や引継ぎを実施し、お子様の状態と支援方法について具体的に話し合いをしています。終礼時にその日の支援の様子等を必ず共有を行い次の支援に活かしています。	・特に新しい職員が入職した場合は、全体での話し合いを密に行い、プログラムにずれや漏れがないようにしていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・担当制ではなく、様々な指導員が支援に当たること で、多角的な視点での支援を提供しています。	・支援の方向性やその時の課題の認識にずれがないよ うに必ず話し合いを行い、共通理解をもつようしてい きます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・定期的に集団イベントを企画実施を行ったり、 必要に応じて個別支援後他の利用者様と一緒に集団 活動を取り入れられています。	・今後もお子様の状況に合わせ、集団での活動を取り 入れたり、イベントの実施を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・朝礼や前日の終礼時にお子様の状況や前回の支援 内容や記録の確認などを行い、職員間で共通理解を持 つようになっています。	・支援場所の確認や内容の確認を行い、スムーズに支援 が出来るように今後も工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・その日の支援の様子や気付きや教材の確認などを全職 員で行うようになっています。	・フィードバックの内容や、保護者様からのお話なども 随時共有し、保護者様も合めた共通理解をもち、支援を 行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・支援後は速やかに記録を作成し、その後職員間で支 援の内容の検討や改善点などを話し合い次の支援に活 かすようになっています。	・担当指導員が記入した記録を、各指導員で確認し、 誤字脱字、記入漏れなどがなく確認し、正確な記録 として残していけるようにします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・半年に一度モニタリングを実施し、全職員で計画の 見直しを行っています。	・支援で見られたお子様の成長や今後の課題などに加え 保護者様の想いやお子様の状況なども踏まえながら計画 の見直しも行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・相談支援事業所との会議及び関係機関との会議に担当 指導員や児発管が参加し、事業所内でのお子様の状況や 見解、対応方法などを具体的に伝え共通理解を深めてい ます。	・今後も児童発達支援管理責任者や支援に関わっている 指導員が可能な限り会議に参加し、共有ができるように していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・保育園や幼稚園、行政との連携も可能な限り行うよ うにしています。	・保育園、幼稚園の先生方との連携を密に行っていきたい と思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・保育園、幼稚園、学校に訪問し、支援方法の助言を 行ったり、園や学校でのお子様の困りごとを把握し 保護者様の意向を尊重しながら支援方法を検討するよ うに努めています。	・利用者様、保護者様の意向に合わせて関係機関との 連携や情報共有を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・支援級、通級などの情報を早めに周知したり、必要に 応じて学校や保護者様との話し合いを行ったり参加 したりしています。	・今後も出来るだけ早く、情報の提供や共有を行なう ように心がけていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	・現在は行っていません。	・今後は必要に応じて連携を図っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	・現在は行っていません。	・今後は必要に応じて連携を図っていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・支援後、フィードバックの時間を設け、保護者様との 情報共有を行っています。	・保護者様から幼稚園、保育園、他事業所での様子等を 伺い、共通理解を図って行きます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	・現在研修という形では行っていませんが支援を見学し て頂いたり、その後ご家庭で取り入れて頂けることなど を共有させて頂いています。	・今後は不定期の開催でもいいので、家族支援プログラ ムや研修会を企画していきたいと思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・ご契約時に説明をさせて頂いています。また疑問等が あればその都度対応させて頂いています。	・今後も契約時や必要に応じて書面と口頭にてご説明さ せて頂きます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリング説明時、支援後のフィードバック時に保 護者様の意向を確認させて頂いています。	・今後も支援後のフィードバック時や事業所内での相談 を実施し、保護者様や利用者様の移行を確認させて頂 きます。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・面談時や支援のフィードバック時などに個別支援計画の内容の説明を行い同意を得てサインを頂いています。	・ご利用者様や保護者様のニーズや課題の把握を行い計画作成を行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・支援のフィードバック時や面談、ラインやお電話などで随時相談に応じ、助言等を行っています。	・今後も随時対応させていただきますのでお気軽にご相談ください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・年に2回保護者会を開催し、保護者様同士の交流の機会を設けています。兄弟同士の交流は現在行っていません。	・今後兄弟参加型のイベント等も企画出来るように、事業所内で話し合いをしています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談や申し入れがあった場合は、必要に応じて上長に報告を行ったり、事業所内で迅速に対応するようにしています。	・苦情報告を受けた時には、苦情の内容を事業所で共有し全職員で原因や振り返りや対策を行い保護者様に報告するように致します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・月に2回のブログ発信を行い、活動の様子や行事の予定等の情報をお伝えしています。	・イベントの案内やブログの発信など今後も積極的に情報発信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・記録や書類の紛失、掲示物、ブログ等の発信時の個人の特定が出来ないような工夫をしています。	・パソコン、書類等は鍵付きの書庫への保管を徹底していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・必要に応じて実物や写真、イラストなど様々なツールを用いて情報共有やコミュニケーションが取れるように努めています。	・事前に配慮すべきことを保護者様から伺い対応に努めていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・現在は出来ていません。	・マンションの自治会のイベントなどには極力参加できるようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各種マニュアルを作成し周知するようにしています。 ・年間計画に沿った訓練を行っています。	・今後も契約時や必要に応じて周知を徹底していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・事業継続計画（BCP）を作成し月に一度避難訓練を実施しています。	・毎年見直しを行い、利用予定表やブログなどで日程や実施の様子をお伝えしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・見学時のフェイスシートへのご記入や契約時に口頭での確認を行い、全職員に共有を行うようにしています。	・今後も書面や口頭での確認を徹底していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・見学時のフェイスシートへのご記入や契約時に口頭での確認を行い、全職員に共有を行うようにしています。	・食べ物を扱うイベント時は特にアレルギーの確認を徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成して保管しています。	・今後も見直しを行いその都度確認を徹底していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・契約時にご説明をさせて頂いています。	・今後もご説明を徹底していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハット報告書を作成、報告、共有を行い、大きな事故の発生や再発防止に努めています。	・日々の業務や支援のなかで気付いたことや危ない場面があった場合は速やかに報告書を作成し共有を徹底していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・法定研修への全職員参加と、虐待防止委員会での事例検討もを行い、虐待についての研修の機会を設けています。	・今後も年間計画に沿って研修を受けていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、契約時に必ずご説明を行い了承を得たうえで計画に記載しています。	・今後も契約時にご説明し了承を得たうえで計画に記載していきます。	